Dr.とDH・DAがともに学べる学会

日本臨床歯周療法集談会 / JCPG

第 43 回 学術大会



2026年11月1日(日) 9:55～16:30

アキバホール(東京・秋葉原)

Dr.とDH・DAがともに学べる学会
日本臨床歯周療法集談会／JCPG

第43回 学術大会

歯を残すためのチーム戦略

― 根分岐部病変に挑む、検査・診断・実践力 ―

2026年11月1日日
アキバホール（東京・秋葉原）

根分岐部病変は、歯周治療のなかでも見逃せない重要な病変であり、歯科医師だけでなく、歯科衛生士の観察力や継続的な関わりが歯の予後に大きく影響します。今回もJCPGの最大の特色である、「歯科医師と歯科衛生士が一緒に学び、明日からの診療にそのまま活かせる学術大会」にしたいと考えております。
講師には川名部大先生をお迎えし、検査・診断の勘所から分類別の対応、チームで取り組むための臨床のポイントまで、実践的にご講演いただきます。午後の講演は昨年に引き続きJCPG所属のDHによるリレー講演、また別会場でのSRP実習も企画しております。
歯科医師、歯科衛生士、そして医院で患者さんに関わる皆様が一緒に学び、医院全体のレベルアップにつなげられる一日になれば幸いです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



JCPG 第43回 学術大会　タイムテーブル

9:55~10:00 **開会の挨拶**　Dr. 小林 和一（東京都世田谷区 開業）

10:00~12:30 **チームで攻略！根分岐部病変**
― 見逃さない検査・診断と分類別アプローチ ―
Dr. 川名部 大（東京都大田区 開業）・DH 東恩納 レイ（川名部歯科医院 勤務）

12:30~13:30 **昼休憩**

13:30~16:25 DHリレー講演
モチベーションアップ！輝ける歯科衛生士から学ぶ臨床力向上の道しるべ partII

- **患者さんは何をきっかけに変わるのか。**
  ― 歯周治療と矯正から考える「気づき」が導く行動変容 ―
  DH 小平 恵（小岩ひまわり歯科・矯正歯科 勤務）
- **患者の未来を創る包括的チーム医療**
  DH 梅澤 記子（飯田デンタルオフィス 勤務）
- **歯周治療の長期症例について**
  Dr. 矢吹 義秀（東京都港区 開業）
  DH 榎本 紀子（ヤブキデンタルオフィス 勤務）

13:30~16:00 SRP実習
左右両利き歯科衛生士 かっきーのSRPファントム実習
講師
DH 柿沼 八重子（かめだ歯科医院 勤務）
インストラクター
DH 中村 涼子（かめだ歯科医院 勤務）
先　着：8名
参加費：15000円（学会参加費別途）
会　場：アキバホール6F セミナールーム5

16:25~16:30 **閉会の挨拶**　Dr. 大藤 竜樹（神奈川県横浜市 開業）



Dr. 川名部 大　DH 東恩納 レイ　DH 小平 恵　DH 梅澤 記子　Dr. 矢吹 義秀　DH 榎本 紀子　DH 柿沼 八重子　DH 中村 涼子

会場
アキバホール（富士ソフトアキバプラザ）
〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3　5階
・JR線 秋葉原駅　中央改札口より徒歩2分　・つくばエクスプレス線秋葉原駅　A3出口より徒歩1分
・東京メトロ日比谷線秋葉原駅　2番出口より徒歩3分

会費	会員	非会員	年会費
Dr.	12,000円	18,000円	12,000円
DH・DT	6,000円	9,000円	3,000円
DA・受付	3,000円		3,000円
大学院生・研修医・学生	無料		

豪華お弁当を用意！
（先着120名、10月10日までに申し込みの方）

参加申し込みは、二次元コードからお申し込みください。
申し込み締め切り 10月22日（木）

※新規JCPG会員ご加入の際は、下記事務局またはJCPGホームページ内の入会案内よりご登録をお願いいたします。
　大会申し込みと同時に入会された場合の大会参加費は、会員料金が適用されます。また、今年度の年会費は免除といたします。
　（JCPG会員：入会金なし、年会費Dr.12000円、DH・DT3000円）
※院長が会員登録している場合、その他のスタッフ（歯科医師を除く）はすべて会員扱いとなります。
※学生の方は当日、学生証が必要となります。
※お申し込み後のキャンセルは返金いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

事前抄録は、JCPGホームページよりご参照いただけます。
http://jcpg.org/

【JCPG事務局】
株式会社インターベント内
〒103-0005　東京都中央区日本橋久松町11-8　REGRARD NINGYOCHO 5F
TEL: 03-3527-3890　FAX: 03-3527-3889　E-mail: jcpg@intervent.co.jp

歯を残すためのチーム戦略
- 根分岐部病変に挑む、検査・診断・実践力 -

日本臨床歯周療法集談会(JCPG)は、このたび第43回学術大会を開催いたします。
今回のテーマは、「歯を残すためのチーム戦略　ー根分岐部病変に挑む、検査・診断・実践力 ー」です。　根分岐部病変は、歯周治療のなかでも見逃せない重要な病変であり、歯科医師だけでなく、歯科衛生士の観察力や継続的な関わりが歯の予後に大きく影響します。
今回もJCPGの最大の特色である、「歯科医師と歯科衛生士が一緒に学び、明日からの診療にそのまま活かせる学術大会」にしたいと考えております。
講師には川名部大先生をお迎えし、検査・診断の勘所から分類別の対応、チームで取り組むための臨床のポイントまで、実践的にご講演いただきます。
午後の講演は昨年に引き続きJCPG所属のDHによるリレー講演、また別会場でのSRP実習も企画しております。
歯科医師、歯科衛生士、そして医院で患者さんに関わる皆様が一緒に学び、医院全体のレベルアップにつなげられる一日になれば幸いです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



実行委員長　Dr. 大藤 竜樹

チームで攻略！根分岐部病変
－ 見逃さない検査・診断と分類別アプローチ －



Dr. 川名部 大
東京都大田区 開業
医療法人大明会　川名部歯科医院　理事長
日本歯周病学会専門医・指導医
日本臨床歯周病学会指導医
日本口腔インプラント学会専門医
日本レーザー歯学会
EL会 代表



DH 東恩納 レイ
川名部歯科医院 勤務
医療法人大明会 川名部歯科医院 歯科衛生士チーフ
日本臨床歯周病学会所属

根分岐部病変は解剖学的にプラークコントロールが困難であり、一度進行すると歯の予後に大きく影響する重要な病変である。
そのため、歯科衛生士による早期発見と継続的な管理が極めて重要となる。
本講演では、根分岐部病変の解剖学的特徴や好発部位、発症・進行に関わるリスク因子を整理した上で、ファーケーションプローブを用いた検査方法やデンタル X線写真の読影ポイントなど、見逃さないための診断の勘所について解説する。
さらに、Ⅰ度・Ⅱ度・Ⅲ度の根分岐部病変それぞれの特徴を理解し、分類に応じた対応法を症例とともに紹介する。
具体的には、ブラッシング指導や SRPの実践的なポイントに加え、補綴装置の形態や清掃性への配慮、再生療法や切除療法の適応と考え方についても分かりやすく解説する。
歯科医師と歯科衛生士がチームとして根分岐部病変に取り組むための知識と臨床のポイントを整理し、明日からの臨床に活かせる実践的な内容をお伝えしたい。

MEMO

モチベーションアップ！ 輝ける歯科衛生士から学ぶ臨床力向上の道しるべ Part II
患者さんは何をきっかけに変わるのか。
－ 歯周治療と矯正から考える「気づき」が導く行動変容 －



DH 小平 恵
小岩ひまわり歯科・矯正歯科 勤務
日本臨床歯周病学会、EL会、Challet、RAPRO+、DIO所属
2010年　　日本大学松戸歯学部附属歯科衛生士専門学校卒業
～2017年　　鈴木歯科医院 勤務
子供2人出産　計約8件勤務(助っ人勤務含む)
2019年10月　福島歯科医院入職
2026年6月　健晃会入職
現在、福島歯科医にて週1訪問歯科診療と、健晃会本院チーフとして勤務

歯周病や咬合の問題は、患者自身が自覚しにくく、必要性を理解していても行動変容につながらない場面を日常臨床で多く経験する。一方で、何らかのトラブルを契機に自身の口腔内のリスクに気づき、治療への意識が大きく変化する患者も少なくない。本講演では、患者の「気づき」が行動変容につながった症例を通して、その過程を考察する。
また、歯周治療を基盤とする歯科衛生士が、咬合や矯正にも視点を広げながら患者とリスクを共有し、将来を見据えた口腔健康をともに考えることの意義についても触れる。
日々の臨床で実践できる患者との関わり方を共有し、「気づき」を行動へつなげる支援について考えたい。

MEMO

モチベーションアップ！ 輝ける歯科衛生士から学ぶ臨床力向上の道しるべ Part II

患者の未来を創る包括的チーム医療



DH 梅澤 記子
飯田デンタルオフィス 勤務

1993年　湘南歯科衛生士専門学校 卒業
1993-2014年　他院にて勤務
2020年~ 飯田デンタルオフィス勤務
2025年　日本顎咬合学会 認定衛生士

歯科医療は、医療従事者一人では完結ができない。治療においては、歯科医師、歯科衛生士、歯科助手、受付をはじめ、歯科技工士、歯科矯正医、麻酔科医、歯科材料ディーラーなど各プロフェッショナルがそれぞれの専門性を発揮し、共通の目標に向かって連携することで患者ひとりひとりへの質の高い医療が提供できると考える。 更に、歯周補綴においては、患者の年齢、性別、性格、環境、全身状態をふまえながら、歯科技工士と綿密な情報伝達をおこない、長期的な予後を見据え、患者自身がセルフケアしやすく、歯科衛生士が管理しやすい最終補綴物を設計する必要がある。

当院では技工指示書を単なる情報伝達ではなく、治療コンセプトを共有する「設計書」と位置付け、装着後に使用する歯間ブラシのサイズ選択や歯周ポケットへのインスツルメントのアクセスのしやすさなどを含め、咬合、形態、色調、マテリアルを検討している。

本講演では、包括的チーム医療が患者の未来を創るために果たす役割と、臨床で実践している連携の工夫について症例を交えて報告する。

MEMO

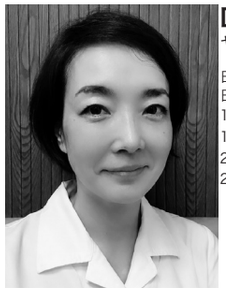
モチベーションアップ！ 輝ける歯科衛生士から学ぶ臨床力向上の道しるべ Part II

歯周治療の長期症例について



Dr. 矢吹 義秀
ヤブキデンタルオフィス 勤務

1970年　日本歯科大学入学
社会人の山岳会に入会し岩登りや雪山に没頭
1976年　大学卒業後
日本歯科大学新潟校第二口腔外科学教室に入局
1980年　マッキンレーに登るために退職
帰国後　東京で高松歯科勤務
1981年　新橋で歯科医院開業
1983年～2001年　開業の傍ら伊豆七島利島村にて僻地診療に携わる
2006年～2016年
港区芝歯科医師会「芝エビ研究会」代表



DH 榎本 紀子
ヤブキデンタルオフィス 勤務

日本臨床歯周療法集談会(JCPG)理事
日本歯周学会会員
1992年　熊本歯科技術専門学校卒業
1993年　ヤブキデンタルオフィス勤務現在に至る
2023年　日本福祉大学(福祉経営学部)卒業
2024年　社会福祉士免許取得

長期症例って？　初診時から長期症例と思って治療を始めるわけではありません。
結果的に、長期にわたって患者さんに通って来ていただけたから長期症例となるものです。
私達はチーム医療として患者さんを中心に歯科医師・歯科衛生士・スタッフがそれぞれの立場から歯周病の治療、口腔機能の回復に携わり、得られた口腔内の健康を長期にわたり維持するためにメインテナンスを続け口腔内の健康維持に努めています。
メインテナンス開始当時は順調に経過していても、年数を重ねるうちに口腔内の変化だけではなく患者さんを取り巻く環境や心身の変化がみられることも少なくありません。
こうした変化に早く気付き、それに対応しながら患者さんを惹きつけ、長期にわたりメインテナンスを継続していくためには、私達歯科衛生士の力は不可欠だと思っています。
20代から患者さんと共に歩んできた日々は私達にとってかけがえのないものです。
長期にわたるメインテナンスの中で、患者さんとどう向き合い維持継続に取り組んできたかを、いくつかの症例を通して皆様と共有させて頂ければと思います。

MEMO

左右両利き歯科衛生士かっきーの SRP ファントム実習



DH 柿沼 八重子
かめだ歯科医院 勤務

日本歯周病学会 認定歯科衛生士
テキサス大学ヒューストン ペリオ インプラント歯科衛生士コース1期生
日本口腔インプラント学会会員
DHAにて「左右両利きDHかっきーのSRP・メインテナンス年間コース」主催
DHAにて「DHかっきーのスーパー！テック製作セミナー」主催
1998年　大宮歯科衛生専門学校卒業
1998年　埼玉県川口市かめだ歯科医院　勤務
現在医療法人D&H かめだ歯科医院&かめだプラウド歯科にてチーフ衛生士



DH 中村 涼子
かめだ歯科医院 勤務

日本歯周病学会会員
GC SRPセミナーイストラクター
2003年3月　東京歯科衛生専門学校卒業
2003年4月　かめだ歯科医院勤務　現在に至る

　このセミナーは歯科衛生士の皆さんが SRPのプロになる第一歩となるためのセミナーです。
SRPに必要な基礎知識と技術を勉強できる内容になっております。
限られた時間の中でも実習を出来るだけ多く行って頂きたいと思います。
実習では受講者の方が使用できるファントムに付着した顎模型を準備しております。
その顎模型を使って、ポジショニングの確認や、キュレットの操作方法などの実習を行います。
このセミナーは少人数で行いますので、講師の柿沼と中村から直接、しっかりと指導を受けることが可能です。
講師の柿沼は左右両利きですので、右利きばかりでなく、左利きの方も利き手で指導を受けられます。
本セミナーは新人の歯科衛生士さんや、復職を考えている方、日々の臨床の中で歯周基本治療に悩んでいる方など幅広い方に受講して頂きたいと思います。

MEMO


CLINICAL PERIODONTOLOGY
J C P G